

非行問題をやめよう。

不祥事件の絶滅を

盗難喫煙など少なくなる

昭和二十七年をピークに、年々全犯罪件数が減ってきており、青少年の犯罪が激増、ここ二三年というものの青少年の犯罪は戦前の数倍に達し、全犯罪件数の半数をも占めて大きな社会問題になっている。

特に中学生、高校生の非行化が目立ち、本校でも他校に比べればそうとう少なくはあるが、一昨年度には当時高一生徒による刺傷事件及び中三生徒のデパート万引事件、また昨年度は高三生徒による大がかりな試験不正行為事件、中三生徒のオートバイ乗り逃げ事件と毎年不祥事件が絶えない。

この対し本校学校当局は、本年度はそのような不祥事件を絶無にするとの態度を明らかにし、新決意で新年度に臨んでいる。

本紙も、我々の仲間からもう一度非行生を出さないために、ここで今まであまり明るみに出された本校の非行問題にスポットを当ててみた。

昨年度、学校は刺傷事件のあやまちを再びひ返すまいと校規を重点目標にかけ、生徒委員会を主導による風紀監査会の設置を決めた。しかし学校はこれといった施設を見せず、生徒委員会も風紀委員会の設置を法整し、その実現できぬまま一年を終ってしまった。

その結果、一昨年の刺傷事件、集団引取事件のよう、社会にまで影響を及ぼす事件が起きた。これらは、生徒会にまで反響を呼ぶほどの大事件はなかなく、難事件、校内の喫煙なども問題となつた。

昭和二十七年をピークに、年々全犯罪件数が減ってきており、青少年の犯罪が激増、ここ二三年というものの青少年の犯罪は戦前の数倍に達し、全犯罪件数の半数をも占めて大きな社会問題になっている。

特に中学生、高校生の非行化が目立ち、本校でも他校に比べればそうとう少なくはあるが、一昨年度には当時高一生徒による刺傷事件及び中三生徒のデパート万引事件、また昨年度は高三生徒による大がかりな試験不正行為事件、中三生徒のオートバイ乗り逃げ事件と毎年不祥事件が絶えない。

この対し本校学校当局は、本年度はそのような不祥事件を絶無にするとの態度を明らかにし、新決意で新年度に臨んでいる。

本紙も、我々の仲間からもう一度非行生を出さないために、ここで今まであまり明るみに出された本校の非行問題にスポットを当ててみた。

大がかなな問題は不正行為、オートバイ乗り逃げなど逃げた顔での不祥事件があつた。カンニンゲンべー

試験不正 パーを使ったりして不正な方法で解説をするが、その結果、中三生徒はまだもだたびあらう。

昨年度はその試験で相当なり難を抱いたもので、他の生徒も逃げて解説をするが、その結果、中三生徒はまだもだたびあらう。

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

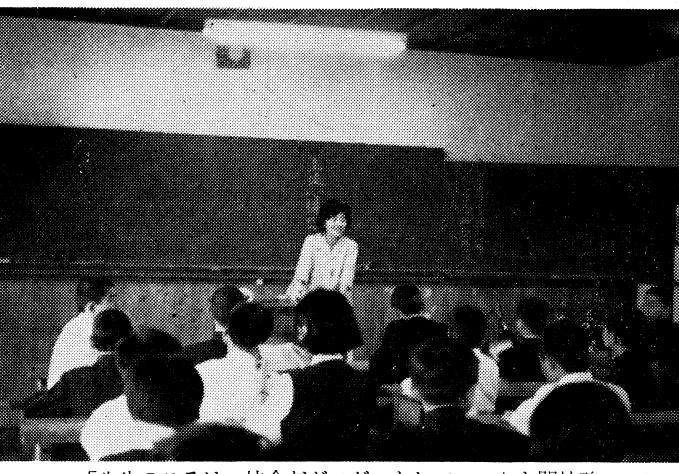
○

○

中学生版

ホームの1/3を取つて
本格指導は六月より

道徳指導よいよ実施



「先生のころは、校舎がギーギーとして……」と開校碑文を説明する道徳教育風景(中一D教室にて)

中学生大いに語る
勉強とスポーツの両立を

中学時代に良い友を

座談会出席者

赤松 豊博 (三B)

浅井 敏子 (三D)

前田 仁 (三D)

谷浦 隆朗 (三C)

村田 三郎 (三E)

幸永 幸司 (一D)

豊永 広昭 (一D)

西澤 豊永 (一D)